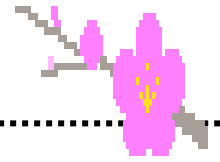


成人おめでとう  
ございます!



『世界とキレル』佐藤 まどか/著 あすなろ書房 **K913サ**

中学2年生の舞は、3週間バカンスの予定で森の中にある洋館「森の家」にやってきました。しかし実際は、他の8人の仲間達と一緒に毎日規則正しい生活を送らなければならず、持ってきたスマホやお菓子は、責任者の鈴木先生に回収されてしまい、バカンスとはほど遠いものでした。舞にとってスマホ無しの生活は耐えられません。「森の家」での生活は一体どうなるのでしょうか。



『君も新しい星を見つけてみないか 望遠鏡の向こうに、君だけの宇宙がある!』

山岡 均/著 実業之日本社 **443ヤ**

新成人の皆さん10年後は何をされているでしょうか?先月「はやぶさ2」は、10年後の帰還を目指し小惑星へ旅立ちました。本書には、10年前「はやぶさ」が着陸した小惑星イトカワの話が紹介されています。壮大な宇宙計画は10年単位で進んでいるのですね。現在、国立天文台広報室長をされている著者が、新星・超新星・変光星・彗星・小惑星について紹介されている一冊です。

『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』加藤 陽子/著 新潮社 **210.6カ**

著者の加藤陽子さんは昨年日本学術会議会員に任命されなかった6人のおひとりです。かつて戦争への道を突き進んだ日本人が何を考え、どう行動したかを知ること。それは私たちが正しい選択を重ね、平和な世界を作っていくためにとても大切なことだと教えてくれる一冊です。



『だめなら逃げてみる 自分を休める225の言葉』小池 一夫/著 ポプラ社 **159コ**

大人になると子どものころ以上に、どうにもならないことが自分の身に降りかかってきます。頑張ってもどうしようもない。そんな時にこの一冊をどうぞ。

作者曰く「『逃げ出す』というとネガティブに聞こえますが、『脱出』だと思えばいいのです。脱出は人生に幾度も必要になります。」

『未来ちゃん』川島 小鳥/著 ナナログ社 **748カ**

本書は佐渡島に住む一人の女の子の日常を撮り下ろした写真集です。食べる、遊ぶなど、ごく普通の光景ばかりですが、彼女の表情や一挙一動に引きつけられます。

未来に向かって進むみなさんに、ぜひ手に取ってほしい一冊です。



『何者』朝井 リョウ/著 新潮社 **913.6ア**

主人公は4人の仲間と就職活動をしています。エントリーシートをみせあい、面接対策をするなど仲間といると心強いことが沢山あります。しかし、何気ない会話の中に含まれる本音に心がざわついていきます。ストレス発散のために主人公がとった方法とは…。ぜひご一読を。

